

# ICT活用講座 福岡、熊本市で

起業家向け、4月から

## スタートアップ 新時代

情報通信技術（ICT）の理論をビジネスなどに活用する手法を学ぶ16回の連続講座「SCCBイノベーションアカデミー」が4月、福岡市博多区と熊本市中央区のシェアオフィス「ザ・カンパニー」でそれぞれ始まる。起業したい人などが対象で、ICTに関する基礎知識や理論を学び、事業展開や効果的な人脈作り、情報発信などに生かしてもらう狙い。

崇城大情報学部の星合隆成教授（工学博士）が所長を務める一般社団法人SCCBラボ（熊本市）が運営する。星合教授は元NTT研究所主幹研究員で、地域活性化やコミュニケーションビジネス創発のための「SCCB（地域コミュニケーションプラットフォーム）理論」を提唱。ラボではこの考えに基づいた教育プログラムの開発などを手掛けている。

星合教授は「今あるものを違う観点でつなげると新たな価値観が生まれる。学びをイノベーション創出に生かしてほしい」と話す。

アカデミーの講義は4〜7月で、熊本では毎週土曜、福岡では日曜に予定。講師は星合教授のほか、ソフトウェアバンクなどの協力企業の担当者も務める。1回15分ずつ、SCCB理論、情報発信スキル、プレゼンテーション、ICTの4テーマについて各4回実施する。月謝は月5千円で計2万円。